

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 2 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 25 事業・取組名 いのちを育む教育アドバイザー事業	
質問	・今回コロナ禍で中止になったが、大変重要な事業だと考えている。令和 2 年の具体的な実施内容・内訳の計画をお聞きしたい。又今後は IT を利用した講演も視野に入れているか。
回答	<p>担当課：教育指導課</p> <p>本事業は、八戸市医師会が推薦する産婦人科医と小児科医を「いのちを育む教育アドバイザー」として委嘱し、中学校において性に関する諸問題等についての専門的な指導を行っていただく事業で、平成 14 年度より取り組んでいるものであります。例年、アドバイザーは中学校を訪問し、年 1 度生徒を対象に講演や授業を行うほか、講演の事前・事後の調査や指導についても、相談にのっていただいております。</p> <p>医療現場に立つ医師による専門的な話を生徒が直接聞くことで、命の尊さに触れるかけがえのない体験となり、感染症を予防するための正しい知識の理解だけでなく、異性の尊重や親への感謝の気持ちも含め、自分そして他者の「命」を大切にしようとする意識の涵養につながっております。また、性に関する価値観の多様化に伴い、性行動の早期化や、メディアにおける性表現の氾濫、LGBT に関すること等、子どもたちを取り巻く環境が複雑化・困難化していることが挙げられますが、これらの点については、アドバイザーと相談の上、講演内容に反映いただいております。</p> <p>委員御指摘のとおり、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、アドバイザーによる講演の実施が中止となりました。令和 3 年度につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で、場合によってはオンラインの活用や学年限定での小規模実施等、柔軟に方法を工夫しながら講演を実施することとしています。学校によっては、密を避けるために、講演会場である体育館と教室とでオンライン中継して実施するところもあります。また、今後の感染状況によっては、アドバイザーが学校に赴くことが困難となる場合、アドバイザーの自宅や勤務先と学校間でオンライン中継を実施することも想定しております。</p> <p>教育指導課では、今後も「いのちの教育」の充実を図るため、八戸市医師会と連携してコロナ禍での事業運営に努めてまいります。</p>